

太田川水防災タイムライン 支援システム構築について

令和4年6月13日（月）

太田川水防災タイムライン検討会

情報共有サイトの概要

■目的

「太田川水防災T L情報共有サイト」は、気象や河川水位・ダム情報等の水防災に関する各種情報を種別ごとに一覧可能なサイトで、以下の事項を目的とする。

- ・水防災に関する情報収集の効率化
- ・水防災に関する現象のイメージ促進
- ・タイムラインにおける意思決定の支援

■利用者

太田川水防災タイムライン検討会メンバー

■運用予定

令和4年度以降

情報共有サイトの概要

■構成

- ①気象情報：太田川流域の気象に関する情報
- ②台風情報：太田川流域の台風に関する情報
- ③雨量情報：太田川流域の雨量に関する情報
- ④河川情報：太田川流域の水位に関する情報
- ⑤ダム情報：温井ダムの情報
- ⑥土砂災害警戒情報：広島県土砂災害危険度情報
- ⑦ライブカメラ：太田川流域の河川ライブカメラ
- ⑧潮位情報：広島港の潮位に関する情報
- ⑨タイムラインの発令状況
- ⑩各交通機関運行情報
- ⑪道路管理者交通情報
- ⑫停電情報

■情報のリンク元

- ・気象庁ホームページ
- ・水文水質データベース
- ・水害リスクライン
- ・川の防災情報
- ・広島県防災Web、各市交通機関HP、電力会社HP

情報共有サイトの事例

〇〇川緊急対応タイムライン情報共有プラットフォーム

〇〇川流域の国・県の機関、沿川自治体、公共交通機関、ライフライン、報道機関など多くの関係機関が情報を共有し、早めの防災行動につなげていくため「〇〇川流域(緊急対応)タイムライン」において、参加機関の行動を支援する双方向情報共有システム

TOP画面

流域警戒ステージと関係各機関のタイムライン対応状況が一目で確認できるダッシュボード！

現時点の流域警戒ステージを表示

05月16日 18時現在の流域警戒ステージ I

防災行動目標は「災害の危険性に注意を向ける」です。

運用会議の開催や流域警戒ステージの更新など重要なお知らせを掲載

お知らせ
2022/02/04 19:56 投稿
台風第14号の接近に伴い、〇〇川流域において大雨が予想されているため、9月16日(日)の警戒ステージ I に移行します。各機関におかれては、連絡体制や配備態勢などの確認をお願いいたします。

現在から39時間先までの予測雨量の累積値を分布図で表示

MSM39時間先累加雨量予測メッシュ図 リアルタイム情報で開く 取扱注意

水害観測所
水位超過状況
 注意危険水位超過
 警戒水位超過
 注意水位超過
 平常水位
 基準水位未設定
 欠測
 ▲上昇中、変化なし
 ▼下降中

レーダ雨量
累加雨量 [mm]
 500 ~
 300 ~ 500
 200 ~ 300
 150 ~ 200
 100 ~ 150
 50 ~ 100
 10 ~ 50
 0 ~ 10
 欠測

各機関のタイムラインの対応状況を掲載。最新の実施状況で常に更新される

MSM39時間先流域平均雨量予測 リアルタイム情報で開く 取扱注意

立ヶ花地点
 (mm)
 10.0
 8.0
 6.0
 4.0
 2.0
 0.0
 時間累計
 2:00 18:00 24:00 06:00 12:00 18:00 24:00
 02/21 02/22 02/23
 予測降雨量 24.5mm

下記地点上流における現在から39時間先までの流域平均予測雨量のハイエトグラフ(立ヶ花地点、杭瀬下地点、小市地点)

リンク集
 国土交通省川の防災情報
 国土交通省 川の水位情報
 水害リスクライン
 気象・河川情報
 道路交通情報
 県道道路情報
 市町村道路情報
 鉄道・バス情報
 気象庁台風情報
 気象庁早期注意情報
 府県気象情報(長野県)
 長野県
 長野県

気象・河川情報サイト、関係機関HPへのリンク集

- 関係機関のみなさんと本システムを運用することで・・・
- タイムライン運用時の関係機関での危機感の共有
- 防災行動の履行確認ツールとして有効活用
- 関係機関（例えば同じグループや近隣自治体）の実施状況を容易に確認
- 情報伝達における確実性の向上・作業の簡素化
- 振り返り・検証における行動記録として活用

各機関がタイムラインの対応状況を登録することで、TOP画面に情報共有される。

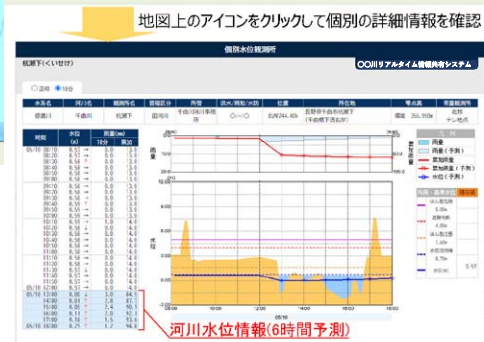
情報共有サイトの事例

〇〇川リアルタイム情報共有システム

流域タイムラインを実行する上で必要となる、「気象情報」・「雨量情報」・「水位情報」・「ダム情報」・「カメラ映像」などの各種リアルタイム情報および「雨量予測情報」や「水位予測情報」を地図情報システムとして一元化し、簡易に情報収集できる情報提供システム

〇〇川リアルタイム情報共有システム

流域内の河川情報が一元化された地図情報システム。現在の出水状況や今後の動向が一目で分かる！



- 💡リアルタイム情報を一元化することで...
- ✔️防災情報収集の利便性向上 ⇒ 迅速化!
- ✔️関係機関が同じシステムにより情報収集することによる、情報錯綜回避